

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社東邦銀行（証券コード:8346）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 福島県福島市に本店を置く資金量約 5.5 兆円の地方銀行。県内預貸金残高でトップシェアを有するなどの強固な事業基盤と、良好な貸出資産の質への評価が格付を支えている。投資信託の解約損益などを除いた実質コア業務純益ベースでの ROA は 0.2% 程度と低く、収益性の改善は引き続き当行の課題と JCR は考えている。ただし、実質のコア業務純益は 17/3 期を直近のボトムとし増加に転じており、足元も堅調に推移している。地元での貸出金残高増によりリスクアセットは増加しているが、その中でも適格旧 Tier2 資本などを調整後の連結コア資本比率は 8% 台前半で維持されている。
- (2) 19/3 期上半期の実質のコア業務純益は 50 億円台半ば。有価証券利息配当金の減少などの減益要因を、法人向けフィービジネスの増収や経費の削減などで吸収し、18/3 期に続き増益となった。法人向けフィービジネスでは、再生可能エネルギー分野にかかるプロジェクトファイナンスの組成を柱とし、私募債取扱いの拡大などで収益源を多様化している。地元における貸出金残高は、不動産賃貸業や再生可能エネルギー分野向け、住宅ローンが牽引し持続的に増加しており、従前、収益減の主因であった貸出金利息は小幅ながら増収に転じている。
- (3) 有価証券運用では、国内外債券の残高を大きく圧縮した。これにより、資本対比でみて大きかった金利リスク量が削減された一方で、これまで収益を下支えしてきた有価証券利息配当金は大きく減少している。その他有価証券合計での含み益は相応の水準を確保しているものの、外貨建債券にかかる含み損は期間損益対比でみて小さくない。
- (4) 18 年 9 月末の金融再生法開示債権比率は 0.82%（部分直接償却を実施した場合 0.64%）と、地銀の中で最低水準まで低下している。震災被害からの復興需要のピークアウトなどを背景に、極めて低水準にあった県内の企業倒産件数は小幅ながら増加している。与信費用は落ち着いた推移であったが、19/3 期上半期は 32 億円まで増加しており、コア業務純益で吸収可能な範囲内ではあるが、今後の動向をフォローしていく。
- (5) 地元での貸出金残高は速いペースで増加しており、コア資本比率への低下圧力は弱くはない。ただし、当行は、東京支店での貸出や有価証券残高を削減することでリスクアセットをコントロールしており、成果に結びついている。

（担当）加藤 厚・大石 剛

■格付対象

発行体：株式会社東邦銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年11月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社東邦銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル